

将来を切りひらく
ことのできる
こどもが育つまち

施策分野 2-1 こども・若者

54

施策分野 2-2 学校教育

57

施策分野 2-1

こども・ 若者



現状と課題

- 核家族化や地域コミュニティの希薄化、共働き世帯の増加などにより、子育て家庭の不安や負担が増大しています。安心してこどもを生み育てることができ、こどもの健やかな成長に向けた支援を行うことが求められています。
- 今後、就学前児童数の減少が見込まれることなどを考慮して、保育や幼児教育に関するニーズの動向を慎重に見極めていく必要があります。また、多様な就労形態を踏まえた保育サービスの提供や不適切保育の防止が求められています。
- 就学児の保育については、放課後児童クラブの開設場所や人員の不足が課題となっています。
- 全国的な傾向と同様、大和市においても、特別な配慮を要するこどもが増加傾向にあるため、一人ひとりに適切な支援を提供していくことが求められます。
- 将来を担うこども・若者の自立や健全な成長を支えるため、児童虐待、ヤングケアラー[※]等の課題に対応するとともに、一人ひとりの権利を尊重し、必要な取り組みを展開していく必要があります。

※ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことです。

施策の方針

- 妊娠・出産・子育てにおける不安を軽減するため、こどもを望んだ時から子育て期にわたり切れ目のない支援を行います。
- 特別な配慮を要するこどもに対し、それぞれの状況に応じたきめ細やかな支援を行います。
- 多様なニーズを踏まえ、地域の協力も得ながら子育て支援に努めるとともに、保育士による施設訪問や保育士研修などにより保育サービスの質の向上に取り組みます。
- 放課後児童クラブに係る諸課題に、継続的に対応します。
- こども・若者を、個人として尊重し、最善の利益を図るよう、施策の推進を図ります。
- こども・若者にとって、多様な体験、活躍ができる環境や安心して過ごせる居場所を整えます。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 2-1-1

すべてのこどもが大切にされ、 すくすくと健康に育っている

主な取り組み

- 乳幼児の健康診査の実施
- 障がいのあるこどもや発達に課題のあるこども及びその家族に対する生活支援
- 適時適切な予防接種の促進
- 児童虐待やヤングケアラーなど支援を要する児童・家庭及び特定妊婦への支援

成果指標	現状	目標
こどもが健康に育っていると思う市民の割合	49.1%	向上
妊婦健康診査の平均受診回数	11.3回	毎年度14回
4か月児健康診査の受診率	98.6%	毎年度98.0%
3歳6か月児健康診査の受診率	97.9%	毎年度98.0%
児童支援利用計画（障害児相談支援）実利用者数	1,299人	1,767人
3歳6か月児健康診査で、4本以上むし歯を有する者の割合	1.65%	0%
虐待相談受付件数	220件	毎年度235件

めざす姿 2-1-2

安心してこどもを生み育てることが できている

主な取り組み

- こどもを望んだときから妊娠・出産・子育て期までの相談支援
- ひとり親家庭を含む子育て家庭への経済的支援
- 子育て家庭が他の家庭や地域とつながる機会の提供
- 保育ニーズの動向を捉えた情報及び良質な保育サービスの提供
- 保育施設の運営支援
- 放課後児童クラブの環境整備

成果指標	現状	目標
こどもを望んだ時から子育て期間にかけて必要な支援を受けられると思う市民の割合	30.4%	向上
妊娠届出時に専任保健師による個別面接（相談）を受けた市民の割合	100%	毎年度100%
つどいの広場開設日1日あたりの平均利用者数	67.7人	90.7人
保育所等の待機児童数（各年4月1日）	0人	毎年度0人
放課後児童クラブに入会を希望する児童のうち、入会できた児童の割合（各年5月1日）	99.8%	毎年度100%
保育施設に対し、巡回訪問支援等を実施した施設の割合（年度ごと）	97.3%	毎年度100%

めざす姿 2-1-3

こども・若者の視点に立った 居場所がある

主な取り組み

- こども食堂など、こどもが安全・安心に過ごせる場所の整備
- こども・若者の多様な交流、体験を可能とする機会の確保
- 青少年育成団体の活動支援

成果指標	現状	目標
こども・若者が安心して過ごせる場所やしくみが整っていると思う市民の割合	31.3%	向上
こども食堂の数（こども食堂マップに掲載するこども食堂の数）	8箇所	13箇所

関連する個別計画

- 大和市こども計画
- 大和市教育大綱

施策分野 2-2

学校教育



現状と課題

- 将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会の中で、こどもが自ら未来を切り拓いて生きていく力を育むことにつながる教育が求められます。
- 児童生徒を取り巻く問題は複雑化・多様化しており、新たな課題も生じている中、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取り組みが必要です。
- 基礎的な学力や学習習慣の定着、情報端末や図書資料の活用能力向上、様々な能力の向上に寄与する読書の推進に加え、国際化、情報社会の進展、社会形成への参画機会の拡大等を見据えた教育を行うことが必要です。
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性などの育成が求められます。
- 特別な配慮を要する児童生徒の増加に伴い、教育的支援のニーズが増大、多様化しており、一人ひとりの状況に応じた可能性を伸ばす教育が求められるとともに、全ての児童生徒が互いの違いを理解しながら学び合える環境を整えることが必要です。
- 年々増加傾向にある不登校児童生徒数において、長期化・固定化する不登校児童生徒を含めた、全ての児童生徒に対し、一人ひとりの児童生徒の社会的自立を目指すための学習機会を保障する支援体制を確立していく必要があります。
- 児童生徒が心身ともに健康な学校生活を送るとともに、生涯の財産となる健康を保持増進することができよう、健康教育の推進が求められます。
- 学校施設等について、児童生徒が安全安心で、快適な学校生活を過ごせる環境が必要です。

施策の方針

- 多様な他者を価値ある存在として尊重し支え合う共生を基盤に、変化を前向きに受け止め自主的に考え行動する主体性や、新たな価値を生み出す想像・創造性を伸長させ、未来を切り拓いて生きていく力を育みます。
- いじめに対し、学校や児童生徒一人ひとりの状況をきめ細かく把握して適切に対応するとともに、地域や家庭と連携しながら解決に向けて取り組みます。
- いじめの防止にも寄与できるよう、人権教育を行います。
- 様々な年齢層のこどもや様々な知識・経験を持つ人々と地域で触れ合い、学べる環境を整えます。
- 基礎的な学力や学習習慣の定着、大和市の読書環境を生かした読書の推進に加え、国際化や情報社会の進展などを踏まえた教育を進めます。
- こどもの多様性を尊重し、一人ひとりの特性に合わせた教育的支援を推進します。
- 全ての児童生徒が互いの違いを理解しながら学び合える環境を整えます。
- 学びの多様化学校※「引地台中学校分教室」を選択肢に加え、社会的自立に向けた、一人ひとりのニーズに応じた多様な学びの場を確保します。
- 児童生徒自身の健康に寄与するよう、健康教育を行います。
- 学校施設等の計画的な整備、更新を実施します。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 2-2-1

多様性を認め、つながり合い、 高め合っている

主な取り組み

- いじめの未然防止、早期発見及び早期対応
- 人権教育の推進
- 児童生徒の特性に応じた教育を可能とするきめ細かい支援
- 学校・家庭・地域が一体となってこどもの成長を支える仕組みづくり

成果指標	現状	目標
児童生徒が互いの良さを生かし認め合い大切にしながら学校生活を送っていると思う市民の割合	23.6%	向上
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合	96.1%	100%
特別支援教育センターで扱った特別支援や発達に関する保護者や学校からの延べ相談件数	436件	496件

※学びの多様化学校…地域の学校に登校していないこども一人ひとりに応じた特別的教育課程を編成して教育を実施することができる学校です。

めざす姿
2-2-2

確かな学力と健康な心身が
育まれている

主な取り組み

- 主体的な学習の定着に向けた支援
- 外国語によるコミュニケーション能力の育成及び国際教育の推進
- 情報活用能力育成に資する ICT 機器や図書資料等の効果的な活用の推進
- 教員の実践力及び学校の教育力の向上の支援
- 学校施設、各種教材等の計画的な整備・更新
- 不登校児童生徒への支援及び不登校への各学校の対応力の向上
- 児童生徒の健康の保持増進を図る保健管理及び健康教育の推進
- 安全教育及び非行防止の推進

成果指標		現状	目標
児童生徒の個性や能力にあった教育が行われていると思う市民の割合		18.5%	向上
学校生活を通して、児童生徒の健康な心身が育まれていると思う市民の割合		24.7%	向上
「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と答えた児童生徒の割合	小6	86.7%	93.4%
	中3	87.7%	93.9%
「ノートや教科書、本などと同じように PC を活用している」と答えた児童生徒の割合	小	89.0%	95.0%
	中	82.0%	90.0%
「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合		84.8%	92.4%
「運動やスポーツが大切だと考える」と答えた児童生徒の割合		93.2%	96.6%
学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた不登校児童生徒の割合	小	70.9%	82.9%
	中	57.6%	72.6%

関連する個別計画

- 大和市教育大綱
- 大和市学校教育基本計画
- 大和市いじめ防止基本方針
- 大和市立小中学校規模適正化基本方針

